

# 輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2880号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

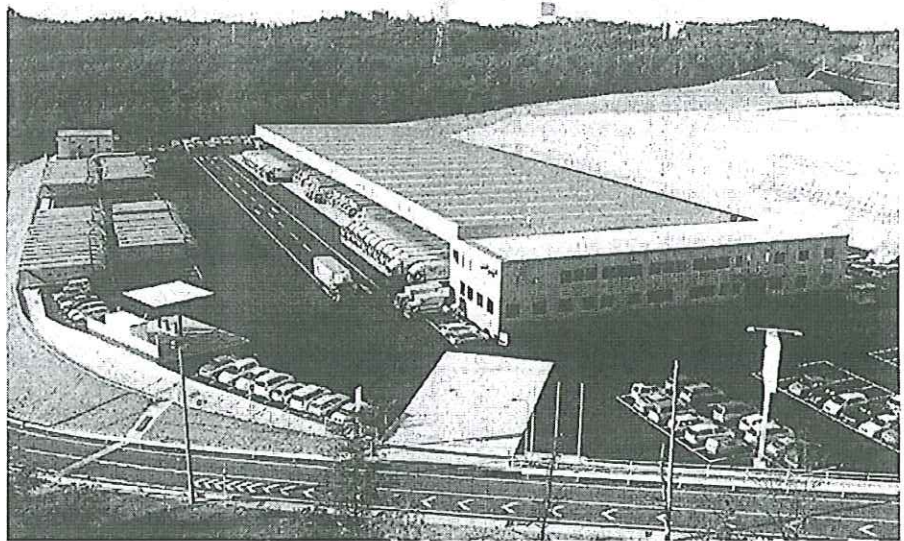
2/2

平成22年  
(2010)  
(火曜日)  
週刊

## 東海西濃運輸

輸送業界屈指の敷地を誇るトラックターミナルが稼働——。西濃グループの東海西濃運輸（本社・岐阜県多治見市、田口利寿社長）は1月25日、岐阜県土岐市に新本社と岐阜東濃支店をオープンした。

（谷 篤）



共同運行本格化とロジステイクス拡大に向かう（新本社・岐阜東濃支店）

百台が駐車できるスペースを持ち、エコアライアンスの主要拠点として活用していく。

所在地は土岐市下石町西山三〇四ノ九二。東海環状自動車道土岐南多治見ICから一分。ホム面積は六千四百平方メートル（四〇×一六〇メートル）で、平成二十二年度中に三十メートル延長する。

社員数は約三百人。多治見、土岐支店の統合計画を三年前から進め、人員の自然減で三十人の削減につながった。車両数は大型百二十台、中小型九十八台。運行便の集約によって年間一億五千万円のコストダウンを実現。年間売上高四十億円を見込む。

3PLも計画中  
全国発送基地に

東海西濃は、隣接する四万九千五百平方メートルの造成地活用も計画。

流通加工を中心にしたセンターを設け、3PL（サードパーティー・ロ

## 本社と岐阜東濃店完成 エコアライアンス基地に

3万6千㎡の敷地を確保し

従来の多治見支店と土

岐支店を統合することも

に本社も移転。投資額は

土地取得費、建設費合

せて二十二億円。すべて

自己資金で賄った。

最大の特色は三万六千

三百平方メートルのターミ

ナル敷地を確保したこ

と。

日本通運をはじめ輸送

業者十社との共同運行を

四月から開始。大型車四